
俺と彼女の恋愛記

Ratchet

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺と彼女の恋愛記

【Nコード】

N5525BA

【作者名】

Ratchet

【あらすじ】

とある高校に通う主人公とその周りの愉快的な仲間達が繰り広げる恋愛記をどうぞご堪能して下さい。

プロローグ(前書き)

初めまして！

Ratchetです！

私の記念すべき処女作、是非ご覧になってください！

プロローグ

俺の名前は風道 かざみち 小陰 こかげ。ここ、としま東京都亜紀羽原市にある市立上双院高校に通う2年生だ。と言ってもその2年に上がるのは明日なんだがな。

俺は明日の始業式に向けて家で準備をしている。因みに俺は現在それなりに広い一軒家に一人暮らしをしている。・・・何？なんですか？

その理由は俺の家は俺と両親を含む3人暮らしなんだが、親父が今勤めている会社が今度欧州に支部を作ることになったんだがその派遣されるメンバーの責任者が親父になったらしい。

親父はその会社の結構上の地位らしく、今回の計画はかなり重要だからその為にも信頼できる人に責任者になってもらいたかったらしい。そして社長が指名したのが家の親父なんだと。

さてこれだけだと単に家の親父しか行かないんだが、実は家の親父にはとある厄介な弱点があったんだ。それは家事炊事が壊滅的に出来なくてお袋曰く、「一人にしておくで一週間で餓死しちゃうのよね」との事らしい。親父・・・。

まあと言う事でお袋は親父の出張に付いていくことになり、必然的に俺は一人暮らしとなったわけだ。

一応俺はお袋から一通りの家事炊事のスキルを教えてもらっているから大丈夫だったし、親父たちも、「小陰（かー君）なら大丈夫だ（ね〜）！」「と言うお言葉を貰い親父たちが旅立ったのが一

年前のこと。因みにお袋は俺の事を「かー君」と呼ぶが、それは「陰」の頭をとってそう言ってるらしい。

「こー君」でも良かったんじゃないのかと聞いてみた所、「今は『貴方』って呼んでるけど、昔はお父さんの事を『こー君』って呼んでたからよ。」との事だ。親父たちの名前はその内出るはずだ。

さて何だかんだこの一年を振り返っている内に、気がつけばもう夜中の12時だ。明日・・・もう今日か、はいつもより早く行ってクラス表を確認しないといけないからもう寝るか。

ま、せいぜい楽しみにするか。

ブログ（後書き）

お楽しみ頂けましたか？

出来れば誹謗・中傷は止めてくださいね。

もししてくれば返信でやり返すので（^¥^）

誤字・脱字等の報告でもいいので感想お待ちしています！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5525ba/>

俺と彼女の恋愛記

2012年1月15日01時48分発行